

## 今日のキーワード 中立水準超えが続く中国の『PMI』

『PMI』とは、購買担当者景気指数（Purchasing Managers' Index）の略で、景況感を押し量る上で注目されている月次の経済指標です。50を上回れば景気拡大、下回れば縮小を示します。中国では、中国国家統計局と中国メディアの財新が『PMI』を公表しています。政府発表と民間発表の『PMI』は、調査対象の企業数や中小企業の比率などに違いがあります。

### ポイント1 政府発表の製造業『PMI』は2016年8月以降、50超が続く 1月は51.3と小幅ながら低下

- 中国国家統計局が発表した1月の製造業『PMI』は51.3と小幅ながら2カ月連続の下落となりました。また、市場予想（ブルームバーグ集計、以下同）の51.6も下回りました。ただし、製造業『PMI』は、2016年8月以降、中立水準である50を上回っており、製造業の基調は引き続き上向きだと考えられます。
- 内訳をみると、構成項目の多くが前月から小幅に低下したものの、先行性があり需要を反映する新規受注が52.6（12月は53.4）、供給を反映する生産が53.5（12月は54.0）となるなど、ともに依然50超の水準を維持しており、堅調です。

### ポイント2 財新発表の製造業『PMI』も50超を維持 1月は前月比横ばい、生産が高い伸びを示した

- 中国メディアの財新が発表した1月の製造業『PMI』は51.5と、前月と同水準となりました。財新の製造業『PMI』も2017年6月以来、50超の水準を維持しています。
- 構成項目別にみると、新規受注と新規輸出受注の伸びは鈍化したものの、生産が1年1カ月ぶりの高い伸びとなりました。



50

### 今後の展開 1～2月は下振れしやすいが、今後も堅調な景気が続く見込み

- このほか、財新発表のサービス業『PMI』は2012年5月以来の水準に改善し、政府発表の非製造業『PMI』も1月は2017年12月から改善しました。
- 中国は2017年の実質GDP成長率が前年比+6.9%となり、政府が目標とする同+6.5%前後を上回るなど好調です。2018年1～2月分の主要経済指標の発表は3月となります。2月は春節休暇もあり、多くの製造業者が減産体制に入りますが、3月には増産体制が整うとみられ、景気は引き続き堅調さが続く見込みです。

### ここもチェック! 2018年1月23日 中国が国家規模で推進する『AI戦略』 2018年1月19日 成長が加速した中国経済（2018年1月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。